(明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可)　(日刊)　月曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年十二月一日　(水曜日)　第二百七十六號　(一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き路を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價　(金貳圓▲三ヶ月前金帶圓▲六ヶ月前金一圓▲一ヶ月前金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢)
廣告料金　(月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊))
發行兼編輯人　高木久馬太郎
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所　京城新報社

甘茶澁茶

●螺線狀に繰り返す

歴史は繰り返へす。而かも同形に同事を繰り返へすにあらざること、猶ほ春夏秋冬の巡て窮りなく、年々歳々花相同じきも、歳々年々常同じからざるが如し。繰り返へさるゝ歴史は、恰も相同じきものゝ如くに見ゆるも、其は唯見ゆるのみ、歴史は平面に繰り返さるゝものにあらず、實は螺線狀に繰り返へさるゝものなり。

●ズルキが勝なり

人を欺く者は人に欺かれず、己れを以て人を忖ればなり、人を欺かざる者は人に欺かるゝ、人を以て己れに比すればなり。人を疑ふ者は人に亦た疑はる、眞意を隱蔽すればなり、人を疑はざる者は人に亦た疑はれず、真心を披瀝すればなり。而して人を疑ひ人を欺く者は常に世に時めき、人を欺かず人を疑はざる者は常に奇禍を得。世はドコ迄も正眞は損なり。世はドコ迄もズルきが勝なり。

●人毎に交る

上下貴賤なしなべて一様に交際すると云ふは嘘なり。又た田來べくもあらず子の父母に對する、尙ほ各々同じからず。兄弟姉妹亦た各々之を異にす。朔や他をや。賢ならば賢として之に接し愚ならば愚として之に交り、親ならば親として之に親しみ、疎ならば疎として之に應ず、是れ處世の秘訣なり若し夫れ詐僞者に對するに詐僞を以てするものゝ如き中心賢くるに誠を以てするものゝ如き、何の妨げか之れあらんや。

雜報

海牙事件再演か

一昨年和蘭海牙の平和會議に際し輕擧妄動を事とし益國少の親善を招きたる李相禹、李瑋鍾の徒に頑迷の夢未だ覺めやらず又もや來春開催さるべき同會議に就き再び大に排日煽動を擧けんとを謀り目下密に京城同志と謀を通じ準備オサ〳〵怠りなく既に此程も其旅費の一部として募り醵たる五千圓中の四千圓は清商の手を通じて巧みに浦鹽の同幹部に送られたるが尙ほ此際一部韓人の其擧を贊し募金に應ずる者尠なからずと傳へらるゝが首謀李相禹は同擧に必要なる適當なる通譯を覓めんが爲め一箇月以前上海に渡り居る間に忠清道淸州郡住前進士金德元なる者が英語に精通せるを耳にして直に信書を發して同人を招きたるを以て金は今より廿日程前上海に至り間もなく李と同道浦鹽に入りたるが來春此行に加はるべき同志の數四十名に達する由なれば同會議開催の曉には頑迷不靈の韓人共如何なる騷動をか演出するやらん自ら利及を頭に加ふる結果とならざればよきかと窃に憂ふる韓國客も在と(日韓通)

地方通信

▲釜山通信

△電話改設　最近の調査に依れば釜山の電話加入者は現在六百九十九名ありて僅かに七百名中一人を缺くの多數なり而して之に使用の電話機は單線單式にして殆んど五百内外を以て機械力の限度とするを以て約二百内外は限度以上に應用せらるゝ且下の有樣なり隨つて通話の第三者に漏るゝとか若くは交換の場合何番々々と連呼しても尙ほ數次相違の事ありて若情續出して其苦情の燒點は交換手の缺點にはあらずして機械の缺點に歸せざる可らず然らば之を改正して缺點を補ふには外部のみにても無慮五六萬圓の巨額を要するも近來釜山港の繁榮は著しく增進して毎年百内外の新加入者常に次ぎ次ぎに申出るの盛況にして今日の比例は五戸に對して電話加入一戸の割合なり現時の如き狀況を以て推行ゝる時は到底如何とも爲し難き次第なれば寧ろ此際積極的の改新を期し現在の單線單式を改めて復式となし之をコンモンバタリー即ち京城のと同一にせんと云ふにありて既に志賀局長よりは繁榮會の評決に基き其筋に向つて申請中の由尙ほ此の復式は頗る進歩したる者にして日本にては京都及び東京芝區の幾分に使用せる外は今日にては僅かに京城の一箇所みと序に電話料の前期内に納附するは約半數にして其半數の督促に三人の專務員をして五時間の通話を要する由に付き相互の經濟上宜しく料金の納附を怠らざる樣ありたきものなりと云ふ(釜山通信員)

▲木浦通信

△米　本月十二日迄の分は既報の通り で以來引續き活潑なる廻着を見ざるは餘りの安値に農家の賣惜と時期の早きとに依るならん因に十三日より一昨日迄で十日間の廻米は籾四千五百石玄米五百八十叺白米二百石前後なりと云ふ

△棉　は引續き好況にて其の後の廻着高は二十日八百七十一個二十一日四百五十八個二十二日六百五十五個二十三日七百六十個二十四日五百二十個此の累計實に二万三百餘個の多きに達せるが十二月以前に斯かる多數の廻着を見るは開港以來の盛況なりと云ふ殊に相場が七圓五十錢以上八圓の間を往來し益騰貴の一方なる爲め廻着は從つて

勅題「新年雪」和歌募集

選者　九阜舘去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

益活潑なり此の多數の出廻りに伴ひ買出のため幾何の貨幣が田舍に流入せるかと云ふに少なくも已に四十萬圓近くに上りたるならん此の割合にて本年度の豫想出棉高三萬個以上に達すとせば優に六七十萬圓の多額を見るべきか斯く短日子に多數の出棉は未曾有の事にて包裝用の木棉に缺乏を來せる位なりと(木浦通信員)

第四十三席　伯山改　神田松鯉口演

折柄又もや多くの島人、法螺貝を吹き喊の聲を揚げ、手に各々長き竿を携へ彼方の山間より數十疋の牛馬を追ふて參ります、其内一疋の大なる牛あつて喊の聲にも恐れず、走る事馬より早く數十人の群の中へッ、、、

京城新報　（水曜日）　第二百七十六號
（二）　明治四十二年十二月一日

京城新報

韓人の保護色

生物殊に動物にありては、ダーウキンの所謂自己の生存を容易ならしむるが爲めに保護色なるものを有す。蝗虫の青色にして草色に相似たる、尺蠖の褐色にして枯木に彷彿たる、水貧の砂色に紛はしき、土蜘の土色に似通へる、樹梢に囀づる目白の翠色なる、皆な是れ自己の生存を安固ならしめんが爲めの、所謂保護色なるものにして、各自は其の居る場所の色に自己の色を同じうして、外敵の襲撃を避くるなり、然れども此等は一定不動の固有の色彩を有するに過ぎざして、場所に隨て其の色を變ずること能はざれども、彼の濠洲に棲息するカメリオンの如きは、其の行く所に隨て色を變じ、隨所に隨所の隨色を表はし、以て外敵の目より避け、自ら其の生存を保護す。自然の妙工至れりと謂つべし。

余輩は亦た韓國人が、此の生物の保護色殊に、此のカメリオンの隨所に隨所の隨色を現はす自然の妙工一種特得の保護色を有するを認ひ。

曩に一たび前統監の凶變ありて、韓民は遺憾なく韓民特有の保護色を發揮したり。韓民は此事變に遭うて、或は國民代表者をして日本國民の憤怒を釋かしむべしと云ひ、或は皇帝を渡日せしめて日本に謝せしむべしと云ひ、或は頌德碑を樹て國民の衷意を示すべしと云ひ、或は韓國統治の權を擧げて日本に委任すべしと云ひ、或は進で合邦運結すべしと云ひ、或は遂に日本臣民となりて國民の幸福を圖るべしと云ひ、或は何し或は何し、以て日本上下の心を和ぐべしと云へるが如き、正に是れ韓民が元明時代以來數百年間の久しき鍛ひに鍛ひ上げたる、此の保護色を發揮したるに過ぎざるなり。而して此の保護色を發揮するに當てや、韓民は敢て我日本國民を欺き、ベテンに掛けんとの大野心より發揮したるにあらずして、彼等は唯自然に己れの特性として知らず識らずの間に、此の事を敢てせしに過ぎず、彼等が此の事を敢てして怪しむ所なきもの、決して屈辱に悟然たるが故にもあらざるなり。彼等は他人類に頼なき、恰もカメリオンの有するが如き一種不可思議なる此の保護色を有するなり。然るを我邦人が動もすれば、韓民が古來よりの此の特質を忽らず、無撃に之を受け取り、異撃に之を討究し、此の際韓國を云々すべしなど云ふが如きは、愚も亦甚だしからずや。而して韓人が日本の寛意を誤解し、相も變らず、此の際特有の保護色を無暗に發揮するは、韓民の特質とは云へ、餘りに見苦しく、何の利き目もあらざるものと、韓民の特性を知れる我日本に向て此手段を弄するが如きも、亦た恐い骨頂と謂ふべく、韓民は我日本は執るべき一定の方針によりて進み、終始一貫渝はるなきを覺り、足掻かず藻掻かず、天の命ずる所に從ひ、事の成行きに任せば可なり、豈に敢てカメリオンを學ぶを要せんや。見透されては、自然の妙工も遂に益なし。余輩が此言を爲す所以のものは實に韓國を思へばなり。韓民其れ誤まる勿れ。

東京電報

▲皇孫殿下の行啓　華族會館に行啓打毬を御覽あらせられた（廿九日）

▲賀陽宮侍從差遣　賀陽宮邦憲王殿下危篤に付き陛下には軫念あらせられ侍從を差遣し御見舞あり（同上）

▲茶業組合の大會　農商務省會議室に於て隔會四十二年度豫算案を附議したる後會頭に大谷嘉兵衛氏を選定せり（同上）

▲勸銀總裁の任命　山本達雄氏は勸業銀行總裁を仰付けられたり

▲伊公遺跡の調査　大日本選書奬勵會幹事山越弘雅氏は神靈として有名なる伊藤明瑞を伴ひ關西地方に於ける伊藤公遺跡調査を爲すため出發したり（同上）

▲內田大使の赴任　米國駐劄大使內田康哉男は本月十日夫人同伴新橋を發し赴任したり（同上）

▲秋月公使の榮轉　白耳義全權公使秋月左都夫氏は特命全權大使に任せられ墺國駐劄を仰付けられたり

▲我裝艦術の進步　横須賀海軍工廠の建造に係る軍艦薩摩は既に艦底に對する工程を終へ其武裝の大体を完成したり各機關試驗の成績は外國製の香取鹿島以上にして日本海軍工廠の技能を發揮せり（同上）

▲東京の天候不穩　昨夜時ならざるに雷鳴し市內三個所に落雷ありたるに加へ今朝また地震ありたるを以て人心恟々たり（同上）

▲矢吹中將の重患　矢吹陸軍中將の病態危篤に陷り石黑軍醫總監佐藤博士詰切加療中なり（同上）

▲米國領事の誤解　奉天駐在米國領事が「日本政府は滿洲へ盛んに無税品を輸入し米清貿易を沮碍しつゝあり」と本國政府に報告するに對し萩原外務省通商局長は「右は滿鐵事業に關するものの無税なるを誤解せるに因るものなり」と言明したり（同上）

▲本野大使の歸朝　駐露大使本野一郎男は昨朝歸着したり（同上）

大連電報

▲對滿政策の攻擊　大連駐在の米國領事は日本の對滿州政策に關し詳細なる攻擊の報告を本國政府に致せり（廿九日）

▲大連貿易の發展　大連稅關の收入本月に於て九十萬兩に上り昨年同期に比し倍增の勢を示せり

北京電報

▲北京政界の暗鬪　直隸總督袁方氏能免後の北京は宮中府中の官吏間鬪益々激烈を極め近く政治界に一大騷亂を生ずべき模樣あり

雜報

日韓の關税問題

（櫻井關税局長の談）

韓國を指導啓發するの地位にある我國の對韓大方針としては兩國間關税の共通は素の得たるものなると同時に彼我の經濟上に於て又利益ありと信ずれども更に仔細に觀察すれば韓國目下の關税收入は約二百萬圓にして其中我國よりの輸入品に對する收入約二百萬圓に上り居れるを以て兩國間の關税を共通するに於ては直に韓國の財政上約二百万圓の歲入減を見るべし之れ韓國財政の堵へ得る處なりとするも韓國の貿易上の關係は彼の尋常とは類を異ふ其趣きを異にし單純なる出航税の課税にして到底其目的を達し能はざる事明なる即ち假りに兩國間の關税を撤廢せば我國に於て多額の消費税等を賦課し居れる各種の產業は消費税を賦課せらるべき韓國に於て經營せられ內地に輸入せらるゝに至るべし茲に於て內地產業保護の目的より之等の輸入品に對し內地に於ける消費税に相當する税率を課税せば何等兩國關税撤廢の實なく然らば韓國に於ても內地同樣の消費税を課税せんか單に兩國間の關税を共通せんが爲に苛重なる負擔を韓國民に强ゆることなるの缺點を生ずべし更に他の方面より之を見るに兩國の關税を共通せば第三國たる歐米各國の貿易品は我國の關税に漏れんかの先づ其貨物を一旦韓國に輸入し然る後我國に轉輸入するとせば必ず之等の關税を取締らるべし之れ韓國の輸入品に對しての消費税に相當する關税を賦課するの目的を達し能はざるなり

清居留地問題交涉

韓國に於ける清國專管居留地設定問題は初め統監府と馬總領事との間に協議中なりしが警察權問題に關し兩者の意見相反し遂に本國政府直接の交涉に移したるが今回清國政府の讓步に依り協議纏まり再び當地駐在領事と統監府の間に細則の協定を爲す事となりたるを以て馬總領事は卅日午前十一時統監府に小松外務部長代理を訪問し協議せり

唱歌体操の改正

從來各學校に於て教授し居たる唱歌の歌詞中排日的の不穩の文字尠からず幼稚なる學童の腦裡には唱歌の歌詞尤も其思想を左右し易きを以て當局者は目下一般普通的唱歌を編纂中なり尙体操の如きも兵式体操とのみ行ひ毫も基本的体操たる徒手体操等を問却せるより今後は之等に對し嚴重取締りをなす由

曾禰統監の招宴

曾禰統監は入京中の日下第一銀行取締役市原韓銀總裁、宇佐川東拓總裁、荒井度支部次官、藤原度支部銀行課長、野阪書記官代理其他統監府の商務官二十餘名を統監邸に招待すべしと

●鄕校所管問題落着

韓國政府が國有土地整理着手以來隱結或は管理曖昧の土地山林發見せらるゝもの夥しく是尊の處分に就ては勿論貢價に酌み來歷を調査して關係地方民の諒解を招かざる樣注意す可き筈なるが茲に學部所管に屬する鄕校の所有土地に就て同部と度支部との間に衝突を來たし過日參與官會議に於て後次官と鈴木官代理との間に一大激論を爲したる事あり元來該鄕校所有の土地は昔時孔子敎旺盛の際各道部に設置したる學制にして之が維持の爲め付與したる基本財產なり然れば多年の慣習上該學制は當然鄕校の私有にして之を國有地に編入するは少しく不穩の嫌あるのみならず徒らに民心動亂の虞れあり爲め學部にて是非權力を以て抗爭し數日前の參與官會議に於て遂に學部所管として存續するに決定せり而して該土地は數千錢路を取りしが京畿道觀察府は茲に見る處あり水原より四里を隔て繁華場濱汀浦と稱する側所の間に大道路を修築し車馬の通行至便となりたる結果仁川より水原に接達すべき貨物は從來仁川に向ふ筈なりしも三十日午後一時出帆群山丸に更し元山、城津、淸津行の城津丸も三十日出帆の豫定を變更して本日港着することゝなれり

韓國銀行の披露

新設韓國銀行が一大披露會を催すこと既記せしが、偖ん嚴寒に向ひしを以て其時期を早め來る四日午後一時半より南大門通りの同新築場に於て盛んなる披露會を催すに決し目下準備中なり

●測量業者取締方針

近時測量業者にして山林所有者が農商工部に提出すべき書類に漏付すべき圖面は見取圖にて足るべきに實測圖にあらざれば不可なりと言ひ觸らし强て測量を依賴せしめ又は土地測量を强制して多額の費用を强請し一方組合を組織して獨り權利あるが如く言ひ居れるが過般開會したる警察部長會議に於ても各道とも其弊あるに依り之れが取締りを嚴にすべき必要あるより測量業者取締規則を制定し道令を以て發布せんと云ふ而して農商工部大臣は各道に向つて訓令を發したるが測量業者は觀察近の許可を受けざれば測量に從ふこと能はず又一度許可されたるものと雖も不正の行爲ある時には之れを取消す可しと云ふ

●內地旅行者不心得

韓內地の旅行は不便なること多きのみならず現時は危險なるを以て官公吏又は一私人と雖も旅行するに當りて憲兵分遣所又は駐在所へ依賴するときは公務に差支なき限りは護衛し又分遣所內に宿泊せしむる等勉めて便宜を與へつゝありと雖も是素より好意を以てなすことにして軍隊又は警察官は義務を以て之れを爲すに非ざれば旅行者たる者は好意を感謝すべき筈なるに旅行者の中には軍隊の待遇に關して不平を云ふ者ありそれが行商人か主用筈ならば又知らず不平不滿の唱ふる者ありと云ふに至りては不心得も又甚しと云ふべきなり

滊船出入の遲延

三十日午前九時二十五分釜山より鎭道廳に達したる電報に依れば二十九日夜入港すべかりし關釜運絡船會下山丸は風波の爲め漸く三十日朝八時十分入港し又三十日入港すべき對馬丸は約三時間遲延入港の見込みなる由尙大阪商船會社群山丸は二十九日釜山出帆群山木浦仁川に向ふ筈なりしも三十日午後一時出帆に更し元山、城津、淸津行の城津丸も三十日出帆の豫定を變更して本日港着することゝなれり

●市場稅と同盟休業

江原道橫城郡橫城邑に於ては去る二十二日原州財務署主事出張市場稅を徵集し修繕を要すべき廳舍に着手し蒸氣式精米機を設置し其他平凡と雖も三碧間遠紛糾爭端起り易く貸借取引上に注意すべし△十二月一日第十月十五黃佛滅乙未歲△十二月一日不喜の日開始の事因何捻西錄有邦基邦に怪なる△一白

吉凶錄

本町五丁目　三一館特約

●日下取締役出發期

韓銀へ事務引繼きの爲め入京中の一銀取締役日下義雄氏は二日當地出發釜山に赴き數日間滯在の上歸東すべしと

●一銀支店長の招宴

前第一銀行仁川支店長太田三郎氏は三十日午後六時より仁川在留官民百二三十名を倶樂部に招待して盛宴を張れり

●齋藤篠出兩氏招待

統監府に於て圖島事件に關係したる人々は三十日午後六時より齋藤元間島派出所長篠田事務官を清華亭に招待せり

●兩派提携の親睦會

三十日午後二時より黃州の一進會大韓協會員は一所に會して伊藤公追悼會を行ひ終つて兩派提携の懇親會を催せり

●大內代議士の延期

新步黨代議士大內暢三氏は昨三十日出發東上の筈なりしが政務調査未了の爲め一日延期し今一日出發東上したり

●國庫剩餘金の支出

釜山警察署草梁出張所經費として一千五百六十六圓國庫剩餘金より支出す

●岡內部次官歸任期

東上中なり岡內部次官は初旬中に歸任する旨其筋へ通知ありたりと

●朴泳孝の入京準備

濟州島よりの所報によれば朴泳孝氏は近々上京せんと準備中の由なりと

●山形分隊長出張

京城憲兵分隊々長山形中佐は門松二等主計を從へ往復約二週間の豫定にて扱州、春川、鐵原各分遣所管內巡視の爲今一日出發の筈

●月叶薰雄氏歸社

久敷く東上中なりし大韓日報社長月叶薰雄氏は風波の爲め一日延期今一日歸社する筈なりと

●信夫理事歸任

信夫理事官は廿八日より江華島巡視中の處三十日歸任

●西田社長の歸元

元山每日新聞社長西田彥三郎氏は廿九日釜山へ向へり

●曾禰統監の招宴

曾禰統監は入京中の日下第一銀行取締役市原韓銀總裁、宇佐川東拓總裁、荒井度支部次官、藤原度支部銀行課長、野阪書記官代理其他統監府の商務官二十餘名を統監邸に招待すべしと

●鄕校所管問題落着

韓國政府が國有土地整理着手以來隱結或は管理曖昧の土地山林發見せらるゝもの夥しく是尊の處分に就ては勿論貢價に酌み來歷を調査して關係地方民の諒解を招かざる樣注意す可き筈なるが茲に學部所管に屬する鄕校の所有土地に就て同部と度支部との間に衝突を來たし過日參與官會議に於て後次官と鈴木官代理との間に一大激論を爲したる事あり元來該鄕校所有の土地は昔時孔子敎旺盛の際各道部に設置したる學制にして之が維持の爲め付與したる基本財產なり然れば多年の慣習上該學制は當然鄕校の私有にして之を國有地に編入するは少しく不穩の嫌あるのみならず徒らに民心動亂の虞れあり爲め學部にて是非權力を以て抗爭し數日前の參與官會議に於て遂に學部所管として存續するに決定せり而して該土地は數千錢路を取りしが京畿道觀察府は茲に見る處あり水原より四里を隔て繁華場濱汀浦と稱する側所の間に大道路を修築し車馬の通行至便となりたる結果仁川より水原に接達すべき貨物は從來仁川に向ふ筈なりしも三十日午後一時出帆群山丸に更し元山、城津、淸津行の城津丸も三十日出帆の豫定を變更して本日港着することゝなれり

●內地旅行者不心得

韓內地の旅行は不便なること多きのみならず現時は危險なるを以て官公吏又は一私人と雖も旅行するに當りて憲兵分遣所又は駐在所へ依賴するときは公務に差支なき限りは護衛し又分遣所內に宿泊せしむる等勉めて便宜を與へつゝありと雖も是素より好意を以てなすことにして軍隊又は警察官は義務を以て之れを爲すに非ざれば旅行者たる者は好意を感謝すべき筈なるに旅行者の中には軍隊の待遇に關して不平を云ふ者ありそれが行商人か主用筈ならば又知らず不平不滿の唱ふる者ありと云ふに至りては不心得も又甚しと云ふべきなり

滊船出入の遲延

三十日午前九時二十五分釜山より鎭道廳に達したる電報に依れば二十九日夜入港すべかりし關釜運絡船會下山丸は風波の爲め漸く三十日朝八時十分入港し又三十日入港すべき對馬丸は約三時間遲延入港の見込みなる由尙大阪商船會社群山丸は二十九日釜山出帆群山木浦仁川に向ふ筈なりしも三十日午後一時出帆に更し元山、城津、淸津行の城津丸も三十日出帆の豫定を變更して本日港着することゝなれり

●韓國銀行の披露

新設韓國銀行が一大披露會を催すこと既記せしが、偖ん嚴寒に向ひしを以て其時期を早め來る四日午後一時半より南大門通りの同新築場に於て盛んなる披露會を催すに決し目下準備中なり

●龍山度量衡課分室

農商工部商工局度量衡課は龍山に分室を設け破損器修理を行ひ居るが別項增俸の件に關し該課分室の上は本課に移轉すべしと

●統監邸の大臣會議

昨三十日は定例大臣會議日なりしを以て各部大臣、參與官は午後一時より統監邸に參集し曾禰統監も臨席したり

龍山通信

（三十日支局報）

▲民團の會計檢査　昨三十日午後二時より龍山民團定期會計檢査を執行せり

▲宅地稅等級調査　從來龍山民團にては宅地稅を均一に賦課し居りしが今回街區の狀況に依り等級を設くるの必要を認め豫算案の都合上取急ぎ調査中

▲度量衡器の就て　度支部度量衡課龍山分室に就て度量衡器の製作、檢査、分配等の狀況を聞くに從來同課にて製作せし分は既に各地方に分配して賣捌かせ其后の分は日本に於て入札に附し既に成品を買入れ同課にて檢査の上賣捌きを爲すことゝ一旦に第一回の入札を行ひ度器は德島にて他は東京に於て有名なる製造人三名に命じて作製せしめ居れり然れども又或物は原料品を輸入して同課に於て製造するもあり尙同課にては人民の依賴に應じ同器具の修理を爲し與へべしといふ▲而して新制の度量衡器分配に就ては各地方に賣捌人を設きて販賣せしめ居れりされば韓內地の隅々迄行渡り居る譯なり（唯江原道にのみは未だ賣捌所無し）と之れと同時に▲今回政府の特許を得ざれば輸入し能はざることゝなりたる結果從來の如く日本に於て製造したる度量衡器にして未檢査の物の若くは檢査不合格のものし輸入を確實に取締ることを得べし云々

●測量業者取締方針

近時測量業者にして山林所有者が農商工部に提出すべき書類に漏付すべき圖面は見取圖にて足るべきに實測圖にあらざれば不可なりと言ひ觸らし强て測量を依賴せしめ又は土地測量を强制して多額の費用を强請し一方組合を組織して獨り權利あるが如く言ひ居れるが過般開會したる警察部長會議に於ても各道とも其弊あるに依り之れが取締りを嚴にすべき必要あるより測量業者取締規則を制定し道令を以て發布せんと云ふ而して農商工部大臣は各道に向つて訓令を發したるが測量業者は觀察近の許可を受けざれば測量に從ふこと能はず又一度許可されたるものと雖も不正の行爲ある時には之れを取消す可しと云ふ

●內地旅行者不心得

韓內地の旅行は不便なること多きのみならず現時は危險なるを以て官公吏又は一私人と雖も旅行するに當りて憲兵分遣所又は駐在所へ依賴するときは公務に差支なき限りは護衛し又分遣所內に宿泊せしむる等勉めて便宜を與へつゝありと雖も是素より好意を以てなすことにして軍隊又は警察官は義務を以て之れを爲すに非ざれば旅行者たる者は好意を感謝すべき筈なるに旅行者の中には軍隊の待遇に關して不平を云ふ者ありそれが行商人か主用筈ならば又知らず不平不滿の唱ふる者ありと云ふに至りては不心得も又甚しと云ふべきなり

滊船出入の遲延

三十日午前九時二十五分釜山より鎭道廳に達したる電報に依れば二十九日夜入港すべかりし關釜運絡船會下山丸は風波の爲め漸く三十日朝八時十分入港し又三十日入港すべき對馬丸は約三時間遲延入港の見込みなる由尙大阪商船會社群山丸は二十九日釜山出帆群山木浦仁川に向ふ筈なりしも三十日午後一時出帆に更し元山、城津、淸津行の城津丸も三十日出帆の豫定を變更して本日港着することゝなれり

●韓國銀行の披露

新設韓國銀行が一大披露會を催すこと既記せしが、偖ん嚴寒に向ひしを以て其時期を早め來る四日午後一時半より南大門通りの同新築場に於て盛んなる披露會を催すに決し目下準備中なり

●龍山度量衡課分室

農商工部商工局度量衡課は龍山に分室を設け破損器修理を行ひ居るが別項增俸の件に關し該課分室の上は本課に移轉すべしと

●統監邸の大臣會議

昨三十日は定例大臣會議日なりしを以て各部大臣、參與官は午後一時より統監邸に參集し曾禰統監も臨席したり

龍山通信

（三十日支局報）

▲民團の會計檢査　昨三十日午後二時より龍山民團定期會計檢査を執行せり

▲宅地稅等級調査　從來龍山民團にては宅地稅を均一に賦課し居りしが今回街區の狀況に依り等級を設くるの必要を認め豫算案の都合上取急ぎ調査中

▲度量衡器の就て　度支部度量衡課龍山分室に就て度量衡器の製作、檢査、分配等の狀況を聞くに從來同課にて製作せし分は既に各地方に分配して賣捌かせ其后の分は日本に於て入札に附し既に成品を買入れ同課にて檢査の上賣捌きを爲すことゝ一旦に第一回の入札を行ひ度器は德島にて他は東京に於て有名なる製造人三名に命じて作製せしめ居れり然れども又或物は原料品を輸入して同課に於て製造するもあり尙同課にては人民の依賴に應じ同器具の修理を爲し與へべしといふ▲而して新制の度量衡器分配に就ては各地方に賣捌人を設きて販賣せしめ居れりされば韓內地の隅々迄行渡り居る譯なり（唯江原道にのみは未だ賣捌所無し）と之れと同時に▲今回政府の特許を得ざれば輸入し能はざることゝなりたる結果從來の如く日本に於て製造したる度量衡器にして未檢査の物の若くは檢査不合格のものし輸入を確實に取締ることを得べし云々

●期成會の發會式

鐵道期成會發會式は來々二十九日午後七時より京城商業會議所樓上に於て開かれたるが出席者二十一名にして山口書記長代理の報告あり中村再造氏を坐長に推し會議の結果發起人五十四名中にて賛成者四十七名を創立委員とし其內にて五名の常務委員を置くことに決し選擧したるは中村再造、山口太兵衛、大村安太、古城管堂、和田常市の五氏當選し別に幹事二名を置くことに決したるも當夜は之れを選擧せず又別に會計副會長及び委員長を置かずして會務を常務委員に一任することに決して午後十時散會したり

●沿外法權

近頃滑稽なるは京城民長の候補撰問題である、監督官の諮問を受けて既に數旬其間に現はれし候補者の呼聲は曰く甲曰く乙而して今以て何等決する處がない樣だ、其れも其等議員中の大半は皆機釜を覗つて居るからだそうである▲大屋鐵道廳長官が臨津江工事に關して請托を受けたとか云ふ事は大分八釜敷くなつて來た樣だ、裏庭へ小公園を造つたと云ふのさへ面白からざる說を立てられた大屋氏は今亦斯樣な說を立てられるのは甚だ以て氣の毒千萬である▲大屋長官と云へば民が曾つて古市前長官より長官に推選されし時、時の統監伊藤公は古市氏に向ひ「君の推選だから間違ひは無からふが一体大屋と云ふ男はドンナ男か」と問ひ返したそうで此時分には未だ大屋氏は伊藤公には顏さへ見られて居なかつたと云ふ事だ▲此間小宮三保松君に依つて太皇帝は親日となつた樣證明されたにも不拘、李允用の家に親しく出入せる李完鎔と云へる男は此頃或人を捉へて太皇帝が常に海外に在る排日派と機脈を通じ諸方に探偵を放ち宮中の事一として信ずること能はざるを以て人民は非常に慨歎しつゝあり▲語つたろうだ李完鎔の言元より信ずるに足らざるも三保松君の證明も當にはならぬヲ

無害ノ煙草チ御照會致シマス EDP金口莫 は純埃なき産にて好馨を含み齒質を堅牢に致シマス故に衛生を重んぜらるゝ好貴諸彦には特に御愛顧を蒙る次第で御座リマス直駁は百本入七十五錢以上色々有マス 不抱多少御用命仰付被下度奉願候 洋金口莫 葉巻 パイプ 直輸入商 卸賣 小賣 日希商會 主任メニヤス 電話二三二番

義親王訴へらる（一）

▲借用金を返済せずとて韓國皇族として人も知る義親王殿下が借用金千三百圓に對し務をなさざりし寄贈金請求の訴訟を提起されたる事件は今學の起りより說出さんに去廿八年閔妃暗殺事件ありて後間もなく日本に渡り侍從正三品韓應龍（變名清水一郎）及び同事件に關與せる土田弘敏氏をして麴町區紀尾井町六に一戸を構へさせ氣慨ある自國留學生を集めては衣食を給し金品を與へ給せしかば義趣悲歌の士來り投ずるもの頗る多く今孟嘗君と知る人の限り推稱へぬはなかりけり、さる程に殿下漸くにして故國を慕ふの心生じ日々快々として樂まざるの風見わるより近侍の人々其の旅情を慰めん爲に狹斜の巷に誘ひたるに高貴の身の殊に名だゝる美男なれば、何處に行きても歡待措かざる有樣なるより殿下何時しか心も空に日夜宴樂に耽り給ひ中にも赤坂林家の尤物林子が殊の外の御氣に入にて山王の森に鳥の鳴かぬ日はありても殿下の姿が赤坂に見わぬ日とはなき由斯と見たる林家の女將林子に勸めて金を殿下に近かしめ爲に少からず懷躊ためて碍り頗る悅に入り居たり、されど金錢は空氣なれわらず本國の宮家及び宮內府よりの莫大なる送金も費には追付かず三十三年一月頃に至つて非常の窮乏と告げられたるより殿下は近侍に隨ひ土田氏の知合なる麴町區三番町六三東京機械製造會社取締石塚正治氏に依賴したるに折節石塚氏には所持の金子なかりしより一應の斷したるも強ての賴みに同町高利貸業後藤才一郎を紹介し高利貸借なるものゝ性質條件を語り、公正證書にて若干金を融通したるが其の後期限になれども元より返却の道付かず後藤は容赦なく

執達吏を向け家財の差押を執行する

始末に孟嘗君と謂はれたる殿下もが爲に失

▲行暴露し少からず面目を失はれたるなれば殿下は之等の爲に益々窮乏せられたるより同年三月再び石塚氏に依賴し親子其邸に乞食を枉げられ約束手形の面に自筆にて「義和宮李鍵」と記され實印を捺して兩度に千三百圓を借受けられたるが殿下は間もなく海を超へて渡米さるゝ事となり石塚氏には今帝の御禮として仙臺半一反を贈られ金子の事は何の話もなくて其儘日本の地を立去られたり（つゞく）

兇漢の父安泰勳

伊藤公を暗殺せし兇漢安重根の父安泰勳と稱するは黃海々州東門外なる商家の家に產れたるが中年頃黃海道信川郡青溪洞と云ふに移り住め性質陰忍にして居常亂を愛する事甚だしく只管ら卒地に波瀾を捲んん事にのみ腐心せる折柄恰も好し東學黨蜂起して文化郡の九月山に據り勢ひ頗る猖獗を極めたるより安泰勳は時の觀察使に說き東學黨勦滅を名として千有余名の有志を蒐めたるが討伐には赴かずして此等の有志を乾兒とし却つて民間を掠奪し良民を殺傷强姦し所在不逞の行ひをなし暴戾極りなきより時の度支部大臣魚允中は觀察使に命じ觀察使は更に巡見を召集して安泰勳を討ひたしたるも一擧にして敵退せられ逆々の体にて逃げ歸りぬ斯くてはならずと更に海州の鎭營大隊長閔泳吉をして大軍を率ひて討伐に向はしめしも安泰勳は恰かも帽子を伏せたるが如き要害堅固なる青溪洞に據りて能く鬪ひ毫も怯け色なきより閔泳吉も困じ果て收殘の兵を收めて引返したりされば安泰勳は件の青溪洞に引籠りて帝王の如く權威を揮ひ千餘人の下を股肱として居たるが四邊の民は怖れ戰きて八方に逃走し糧道遮へも絕たれたれは道ずの安泰勳も弱り果て單身京城に赴りて李夏榮方に潛伏し懇々懺を云ふの上外でもない乃公は知つての此の歲ちやで貴公等兩人が側に居て甘い所を見せたさで何んとも思ひはせぬけれども一行中には隨分と肥肉の始末に

官費新婚旅行

▲電車の內（五）

ヨボが例の長い煙管で、ジル〳〵ズーと吸つては、プカリをやる、ペツ〳〵とやる、唾が胡麻鹽の、野羊式顎髯に穢い露の玉を綴つて居る、ヒガヤ〳〵と三四人、何やら嬉らしいのが轉りつゝ乘込むだ、ペチヤクチヤ饒舌りては、キヤツ〳〵と笑ふ、頓て一人が、つかれてか、ズツと背伸して、ヨボを振返へり、ジロ〳〵と觀て一寸間をおいて「臭いヨボー」と不意に喚いて、仰山に目を皺寄せ、ヨボを睨ひ、外のは聲に驚いて頭を擡げ、喚いた女の視線をばヨボが面に辿りつくや否「臭いヨボー」と一齊に浴せ懸くる、ヨボはキヨトンとして、ジル〳〵ズーのプカリとやる、と一人青い凄いのがスツクと起つた、ツカ〳〵と寄るなり、煙管を引たくつて床へ叩きつけ、ポカンと呆れたヨボが面を、睨ひつけて「馬鹿ツ」と怒鳴る、ヨボは倍々呆れて、チー

集配韓人の生埋

▲犯人未だ縛に就かず

黃海道海州郵便局韓人集配人金應祿は所屬面外五面に郵便物配達の爲め去る十六日局を出で十八日歸局すべき筈なるに未だ歸行衛不明となりし捜査の結果彌勒面杜峴洞の路傍に兩手を縛せられたる僅生埋めにされたる無殘の死體を發見したるが郵便物は未だ所在不明なりとか其筋にては嚴重に犯人の捜索中なり

頑夢未だ醒めやらず

▲太皇帝の密偵政策

李允用の家に親しく出入せる李完鎭と云へるもの此頃或人を捉へて太皇帝陛下が常に海外に在る排日派と氣脈を通じ諸方に探偵を放ち宮中の事一切信ずること能はざるを以て人民は非常に憤慨しつゝあるが國家の爲め寒心の至りなりと滿面に憂色を浮べて語れり

趙農相の收賂說

▲觀察使を四千圓に賣る

安升玉と云ふもの觀察使に任せらるゝことに內定し居る由なるが其に就き農商工部大臣趙重應は金貨四千圓を收賂せりと傳ふるものあり

俠氣な仲居を蹴飛す

▲遊興費の請求を怒りて

一昨二十九日夜八時過ぎ龍山桃山遊廓內清水組建築事務所より婦人の悲鳴漏れ聞ゆるに怪遊中の巡査立寄りて取調べたるに女は紀の國屋の仲居三宅きしのすぼ理事官及民長に申請すべしと數回き寄り〳〵會合し居れりと

執達吏を向け家財の差押を執行する

始末に孟嘗君と謂はれたる殿下もが爲に失

▲行暴露し少からず面目を失はれたるなれば殿下は之等の爲に益々窮乏せられたるより同年三月再び石塚氏に依賴し親子其邸に乞食を枉げられ約束手形の面に自筆にて「義和宮李鍵」と記され實印を捺して兩度に千三百圓を借受けられたるが殿下は間もなく海を超へて渡米さるゝ事となり石塚氏には今帝の御禮として仙臺半一反を贈られ金子の事は何の話もなくて其儘日本の地を立去られたり（つゞく）

兇漢の父安泰勳

伊藤公を暗殺せし兇漢安重根の父安泰勳と稱するは黃海々州東門外なる商家の家に產れたるが中年頃黃海道信川郡青溪洞と云ふに移り住め性質陰忍にして居常亂を愛する事甚だしく只管ら卒地に波瀾を捲んん事にのみ腐心せる折柄恰も好し東學黨蜂起して文化郡の九月山に據り勢ひ頗る猖獗を極めたるより安泰勳は時の觀察使に說き東學黨勦滅を名として千有余名の有志を蒐めたるが討伐には赴かずして此等の有志を乾兒とし却つて民間を掠奪し良民を殺傷强姦し所在不逞の行ひをなし暴戾極りなきより時の度支部大臣魚允中は觀察使に命じ觀察使は更に巡見を召集して安泰勳を討ひたしたるも一擧にして敵退せられ逆々の体にて逃げ歸りぬ斯くてはならずと更に海州の鎭營大隊長閔泳吉をして大軍を率ひて討伐に向はしめしも安泰勳は恰かも帽子を伏せたるが如き要害堅固なる青溪洞に據りて能く鬪ひ毫も怯け色なきより閔泳吉も困じ果て收殘の兵を收めて引返したりされば安泰勳は件の青溪洞に引籠りて帝王の如く權威を揮ひ千餘人の下を股肱として居たるが四邊の民は怖れ戰きて八方に逃走し糧道遮へも絕たれたれは道ずの安泰勳も弱り果て單身京城に赴りて李夏榮方に潛伏し懇々懺を云ふの上外でもない乃公は知つての此の歲ちやで貴公等兩人が側に居て甘い所を見せたさで何んとも思ひはせぬけれども一行中には隨分と肥肉の始末に

新案

官費新婚旅行

▲度支部書記官吉松君の事

度支部書記官吉松憲郎君と云へば部內にも比類なる敏腕家なること世に聞こえたるものなるが今回或る方の周旋にて牧山靜子嬢と結婚の式を擧げ京城ホテルに於て其の披露宴を催されたる

集配韓人の生埋

▲犯人未だ縛に就かず

黃海道海州郵便局韓人集配人金應祿は所屬面外五面に郵便物配達の爲め去る十六日局を出で十八日歸局すべき筈なるに未だ歸行衛不明となりし捜査の結果彌勒面杜峴洞の路傍に兩手を縛せられたる僅生埋めにされたる無殘の死體を發見したるが郵便物は未だ所在不明なりとか其筋にては嚴重に犯人の捜索中なり

頑夢未だ醒めやらず

▲太皇帝の密偵政策

李允用の家に親しく出入せる李完鎭と云へるもの此頃或人を捉へて太皇帝陛下が常に海外に在る排日派と氣脈を通じ諸方に探偵を放ち宮中の事一切信ずること能はざるを以て人民は非常に憤慨しつゝあるが國家の爲め寒心の至りなりと滿面に憂色を浮べて語れり

趙農相の收賂說

▲觀察使を四千圓に賣る

安升玉と云ふもの觀察使に任せらるゝことに內定し居る由なるが其に就き農商工部大臣趙重應は金貨四千圓を收賂せりと傳ふるものあり

俠氣な仲居を蹴飛す

▲遊興費の請求を怒りて

一昨二十九日夜八時過ぎ龍山桃山遊廓內清水組建築事務所より婦人の悲鳴漏れ聞ゆるに怪遊中の巡査立寄りて取調べたるに女は紀の國屋の仲居三宅きしのすぼ理事官及民長に申請すべしと數回き寄り〳〵會合し居れりと

親不孝者の窃盜

去二十七日午後四時頃龍山元町四丁目四十一番戶武藤一作方にて家人の不在中一人の日本人忍入りて女持洋傘を窃取し逃走せんとする時折好く龍山署の栗林刑事が通り合せ有無を言はさず取押へて本署の爲め休業致し候▲新町遊廓の今日此頃も中々好景氣の由に候、昔しは女郎が客席に侍りし時は一切睡眠致さゝりしが今日は一般韓人子弟に

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇たし 年三十五替通教育あるも鑛山事業に多大の趣味を有す如何なる冠嶮も不厭 姓名住所（四八二）

●被雇度 年三十三才貨物取扱及税關手續に經驗あり英語を解す商店又は會社雇たし 氏名住所（四八五）

●女中入用 十五歳以上四十歳以下の上品なる女入用給料等次第保證人を要す（家庭小人數） 龍山老松町三四兒玉 氏名住所（四八七）

●被雇度 年廿五寫眞術並に測量等に經驗有り 氏名住所（四八七）

●告上原氏 應募申込あれども通知するに由なし往復はがき又は郵券送付ありたし（係）

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所

●告ケーチー生 紙上の匿名は可なる也絶對の匿名にては通信する由なし故に住所氏名を本欄係宛にて通知ある迄掲載を見合はす（係）

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廊下二階六疊二間廊下井戸物置湯取付家賃面議 氏名住所（四七八）

●貸家 北部齋洞廿九統四に安價の貸家あり御希望の方は同所の内尾に就き問合せあれ

●告ケーチー生 紙上の匿名は可なる也絶對の匿名にては通信する由なし故に住所氏名を本欄係宛にて通知ある迄掲載を見合はす（係）

廣告

歐米新式 高等裁縫 龍山榮町 田口洋服店 電話三一二番

陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業 龍山老松町 磯口商店 電話一一九番

龍山元町三丁目 長尾醫院 院長 醫學得業士 長尾乙二

龍山若松町 島崎鐵工場 電話四四一番

梅毒患者の福音 ●殊に梅毒三期患者に對して本院獨特の驚嘆療法を行ひ如何なる難症と雖も二週間以内に全治せしむ 尚癩病に對しても最新の治療を行ふ 京城南大門外通り御成町 梅毒病科 戸田病院 電話九三八

内外科小兒科 梅毒病科 京城南山町三丁目 本町菱通北側 品物大切に保管秘密 最守仕候 電話六七三番 質 川崎 多少に拘はらず御便利 御投申候 旭町二丁目

京城代辯店 本町四 山口呉服店 電話九番

東京災海運送保險株式會社 資本金一千萬圓 ● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番 明治廿年七月創立

京城南山町三丁目（元日本人倶樂部事） 京城ホテル 長 電話一一二三番 電話四九二二番

京城南山町三丁目 日韓印刷株式會社出版部

壹冊紙數六百頁 菊判半截形 製本堅牢 正價金六拾五錢

此際に限り實費金五拾錢にて配本仕候十二月五日出來配本

◎本書は日韓一家的關係の上に於て近來に於ける一大進捗

とも稱すべき 司法權委任 に關する法令を餘さず洩さず網羅蒐集したるものなり

◎本書は時世の要求に依て產れ出關係官民各位の竭望に應すべく茲に 印刷實費 を以て提供を開始せり

◎本書は官衙公署は勿論銀行會社組合事務所其の他苟くも

◎本書は必要の場合に應して使用するのみならず此際に於て是非 一回は御通覽の必要 あるものなり

○總目次見本は御申込次第郵送可仕候持別減價の方法あり

○御希望の方は本月末日迄に御申入れを乞ふ

京城 明治町三丁目 日韓印刷株式會社

緊急廣告

石川高等法院判事閣下校閱 今村内部警務局警視閣下校閱 日韓印刷株式會社編輯部編纂

○印刷明校正嚴密 ○類集整然携帶便利

荒物世帶道具一切 大坂 製白絞油和洋蠟燭 和傘岐阜提灯魚釣道具 卸小賣 京城南町六丁目 地方在住の各位には御申越あり次第代金引替發付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候御弊店營業品目錄御入用の御方に御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具 各國諸油米穀 銘酒澤龜 麦酒 並に買次業 西崎嘉七本店 電話長二一〇 電略（ニカ又は二） 振替貯金口座東京（九四一七番）

東京 足袋 本店東京 京城大和町一丁目（日の出橋際） 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番 正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升

神戸資生分院 京城相生町（南門湯横） 花柳病專門附、痔一般注射療法 院長 醫學得業士 蔚田耕平

瑞西タバン時計會社 米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國代理販賣店 獨逸國 スカンジヤ 自轉車特約販賣店 時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番 時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

概略營業目品

和洋帳簿諸紙類 文房具學校用品 卷紙封筒手帳類 帽子洋傘クツ鞄 洋服附屬品一式 メリヤス類 毛布膝掛馬車掛 石鹸香水齒磨類 タオル、ハンカチ 手袋沓下袋物類

正札 引なし 一 池田長兵衛 電話二百〇六番 和洋雜貨 卸小賣商

官衙、陸軍銀行、會社 御用達 京城本町四丁目

大根漬用大根 榮 農商園藝模範場御拂下品 自園栽培

澤庵漬物用白 並に 醸 醸造具一式 ● 各種子 ● 廣告 ● 廣告 ● 廣告